

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.80 児童・生徒教育相談員推進事業				担当課	指導課			予算費目名	款 10	項 01	目 02
事業概要 及び目的	児童・生徒教育相談員を配置し、不登校傾向や学力不振の生徒に対して、指導援助を行い、併せて教育相談を行う。				成果指標 不登校児童・生徒の解消率を上げる。	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
						予算額 (単位:円)	5,880,000	5,922,000	5,728,000	5,728,000		
						決算額 (単位:円)	5,559,980	5,577,860	5,522,080			
						従事職員数	1	1	1			
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち		★左記施策(号)との結び付き 相談員の指導援助により、不登校の児童・生徒数が減ることで、小中学校の教育効果が上がり、充実に結びつく。	従事延べ日数	260	260	260				
	節 1	豊かな人間性を育む教育の推進			民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input checked="" type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし						
	項 2	次代をひらく学校教育の充実				相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等						
	号 2	小中学校教育の充実				形態は? : 相談員						

2. 進捗状況 平成 21 年 7 月 21 日記入 平成 22 年 6 月 4 日記入 平成 23 年 4 月 18 日記入

年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・日数を増やして連絡協議会を設置した。 ・不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個別の支援を行うことが、問題解決につながった。				・連絡会において、教育相談活動の充実のため研修を行った ・不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個別の支援を行うことが、問題解決につながった。				・全中学校に教育相談員 1 名を配置。 ・連絡会において、教育相談活動充実のための研修を行った。 ・不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個別の支援を行うことが、問題解決につながった。					
継続している 事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	成果指標				成果指標				成果指標					
	実績値 43.1%		達成率 76.9 %		実績値 33.6%		達成率 60 %		実績値 41.2%		達成率 73.6%			

3. 今後の方向性 ※課内協議を経て管理職が記入してください。 平成 21 年 7 月 30 日協議実施 平成 22 年 6 月 7 日協議実施 平成 23 年 4 月 18 日協議実施

今後の方向性	平成 21 年 7 月 30 日協議実施					平成 22 年 6 月 7 日協議実施					平成 23 年 4 月 18 日協議実施							
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充				○	成果の方向性	拡充				○	成果の方向性	拡充				○
	コストの方向性		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		
方向性を実現するため実施すること (改革案)	★上記を選択した根拠 不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個別の支援を実施することで教育効果を上げている。					★上記を選択した根拠 不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個に応じた対応をすることで安心感を与え、教育効果を上げている。					★上記を選択した根拠 不登校傾向や学力不振の児童・生徒に対し、個に応じた対応をすることで安心感を与え、教育効果を上げている。							
前年度改革案の実施状況	■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。					■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。					■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。							